

LRP

R E P O R T



LET'S READ PROJECT
REPORT

2019

はじめに

Let's Read Project(以下LRP)とは何か。それは、

「本を読むということ、
その醍醐味をほかの誰かと分かち合うということ、
図書館という空間をまるごと味わうということ——」

(和光大学附属梅根記念図書・情報館ホームページより)

をポリシーに、和光大生を中心とした多くの人たちに本や図書館を楽しんでもらうために 2008 年に結成した団体です。

昨年度、活動発足から十周年を迎え、これまでの活動を振り返るとともに、また新たな気持ちで様々な企画を行ってきました。定期的に公開している企画本棚では、4月に「和光大生の大学生活を彩る本棚」、夏には「青色本棚」、さらに11月の大学祭時には「私たち勉強中本棚」、「絵本本棚」、1月からは「人物本棚」をテーマに、図書館に所蔵している様々な本を紹介しました。

今年の夏休みには、現役書店員の方をお招きし、現場のお話を伺いながらPOP講習会を開催しました。実際にお客さんが本を手にとるとき、POPはどのような効果があるのかなど、普段なかなか耳にすることのできない話を聞くことができ、とても新鮮でした。

この『LRPレポート2019』には、一年間のイベントの様子や、メンバー一人一人の個性あふれるおすすめ本の紹介、自己紹介などが掲載されています。『LRPレポート2019』を手にとられた方が少しでもLRP、図書館、本に興味を持ってくださったら幸いです。

現代人間学部 2年 shuri



和光大学図書・情報館 HP
Let's Read Project とは

C O N T E N T S

はじめに	2
『LRP MEMBERS' FINE WORKS ～POP紹介～』	4
LRP2019年度活動報告	
『和光大生の大学生活を彩る本棚』公開	6
『和光大生の大学生活を彩る本棚』公開記念プレゼンテーション開催	7
『青色本棚』公開・	
LRP 夏期イベント『書店員によるPOP講習会』開催	8
『私たち勉強中本棚 + 絵本本棚』公開・	
『LRP イベント「ミニビブリオバトル」 in 和光大学祭』開催	9
『人物本棚』公開	10
第13回選書ツアー	11
PICK UP BOOK	12
LRPプロフィール	14

「表紙：選書ツアー(2020年2月)にて《紀伊國屋書店新宿本店》」

LRP MEMBERS' FINE WORKS

POP 紹介

例年、夏期イベントは「見学ツアー」と題して図書館や博物館などを見学し、刺激を受けて帰ってくるが多かったのですが、2019年の夏は趣向を変え、現役書店員の方をお招きし、POP作成の技を伝授していただきました。

これまで何気なく(またはうーんと頭を悩ませながら)書いてきたPOPでしたが、感じたままを素直に、少しの技と工夫によってこんなに惹きつけられるPOPに仕上がるのかと驚きの連続でした。

力作の一部を、紹介いたします。



『ももいろのきりん』
中川李枝子 さく 中川宗弥 え
福音館書店



『三びきのやぎの がらがらどん』
: アスビョルンセンとモーの北欧民話』



マーシャ・ブラウン え 瀬田真二 やく
福音館書店



長谷川集平 作
文研出版

『だんまりこおろぎ』
: 虫の音がきこえる本』



エリック・カール 作 工藤直子 訳
偕成社



安藤武 著
夏目書房



講師は株式会社紀伊国屋書店の岡田充広氏



メンバーよりひとこと

作品の講評をしてもらうことで、自分のPOPの改善点が可視化された点がとてもよかったです。またPOPの効果について、数字でわかりやすく示されたのも印象的で、その大切さを実感できました。

(総合文化学科4年 とい)

自分だけでは思いつかないアイデアをたくさん教えていただいた。POPの書き方以外にも応用できそうで勉強になった。

(芸術学科4年 都)

たかがPOP、されどPOP。単に字がうまければよいだとか、絵が綺麗であればよいというものではないと思った。心理学(特に色彩心理学)や紙の形の工夫など、本を読もうとする人を感動させるセンスが必要だと思った。

(総合文化学科3年 一条公三郎)

最後にみんなの前で自分のPOPを見せながら講評されるところが少し恥ずかしかったですが、褒められたので嬉しかったです。

(現代社会学科2年 shuri)

本の系統や読む人の年齢層によって、それぞれ違う工夫を凝らしながら作るの大変だと感じましたが、楽しかったです。本に関わる仕事がしたいと考えているので、今回の講習会はとても参考になりました。

(総合文化学科2年 黄緑ペンギン)

今回は、書店員の方による講習会ということもあり、いつもより丁寧に、時間をかけてPOPを作成しました。POPを書くコツなど、今回の講習会で確認することができました。

(総合文化学科2年 Kちゃん)

今回の講習会では、手書きのPOPの方が、印刷したものよりも他者の目に留まりやすいということが印象に残った。今後POPを作る機会があれば「如何に他者の目を惹くか」という点を重視して作ろうと思う。

(総合文化学科1年 伊刈間斬斗)

出版年が古い本でも、POPの効果で売上げが上がるという現象など、POPに書かれた文字や絵の効用について大変勉強になった。書店で実際に使われているPOPの書き方を、現場のプロの方から具体的に学ぶことはめったにない機会なので、よい経験になった。

(総合文化学科1年 唾吾こういち)

POP効果や設置意味など基本的なこと、たとえば漫画は「内容を端的に短く書く」と良く、「細かく長い文章」は純文学や歴史書等に向く、という興味深いお話だった。自分が書いたPOPへコメントをいただき、とても新鮮で楽しかった。

(総合文化学科1年 ヨーハン)

LRP 2019 年度活動報告

No. **1**

4月24日(水)

『和光大生の大学生活を彩る本棚』公開

2019年2月に開催した「選書ツアー」にて、LRP 学生メンバーが“和光大生にオススメの本”を選び、おすすめポイントなどを記したPOPを作成し、本棚の展示を行いました。
学生ならではの視点で、様々な分野の本をそろえました。

LET'S READ PROJECT
和光大生の大学生活を彩る本2019ブックリスト



タイトル/著者ほか	出版社
1 2.5次元舞台へようこそ：ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ / おーちようこ著 (星海社新書；117)	星海社
2 世界の哲学50の名著 / T・パトラー＝ボードン [著]；大間知知子訳 (Liberal arts college)	ディスカヴァー・トゥエンティワン
3 日本人と死生観：オールガイド：江戸の極楽往生から現代の散骨・スピリチュアルまで / 新妻健著	幻冬舎メディアコンサルティング
4 神葬祭大事典 / 加藤隆久編	戎光祥出版
5 西洋編；中東編 / 鈴木董編著 (悪の歴史：隠されてきた「悪」に焦点をあて、真実の人間像に迫る)。	清水書院
6 西洋編 / 堀越孝一編著；(下)(悪の歴史：隠されてきた「悪」に焦点をあて、真実の人間像に迫る)。	清水書院
7 首相になれなかった男たち：井上馨・床次竹二郎・河野一郎 / 村瀬信一著	吉川弘文館
8 正伝岡田以蔵 / 松岡司著	戎光祥出版
9 法律トリビア大集合：法律って意外とおもしろい!! / 第一法規法律トリビア研究会編著	第一法規
10 大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる / 出口剛司著	KADOKAWA
11 図説英国執事：貴族をささえる執事の素顔 / 村上リコ著 (ふくろうの本)	河出書房新社
12 祭祀習俗事典 / 柳田国男著	河出書房新社
13 絵本百物語：桃山人夜話 / 竹原春泉 [画]；多田克己編；京極夏彦 [ほか] 文	国書刊行会
14 鬼ともののけの文化史：絵で見て不思議! / 笹間良彦著；瓜坊進編集 (遊子館歴史選書；2)	遊子館
15 戦争の経済学 / ポール・ポースト著；山形浩生訳	バジリコ
16 数学センスが身につく本 / アルフレッド・S・ポザマンティエ [ほか著]；宮本寿代訳 (Liberal arts college)	ディスカヴァー・トゥエンティワン
17 日本の星名事典 / 北尾浩一著	原書房
18 世界毒草百科図鑑 / エリザベス・A・ダウンシー、ソニー・ラーション著；柴田譲治訳	原書房
19 世界史を大きく動かした植物 / 稲垣栄洋著	PHP エディターズ・グループ

No. **2**

5月7日(火)～9日(木)

『和光大生の大学生活を彩る本棚』公開記念 プレゼンテーション開催

春休みの選書ツアーに参加したメンバーが、選んだ本の中から「おすすめの1冊」のプレゼンテーションを3日間にわたって行いました。



タイトル/著者ほか	出版社
20 色と形で見わけ散歩を楽しむ花図鑑 / 大地佳子著；亀田龍吉写真	ナツメ社
21 新しい、美しいペンギン図鑑 / テュイ・ド・ロイ、マーク・ジョーンズ、ジュリー・コーンスウェイト著；上田一生監修・解説；裏地良子、熊丸三枝子、秋山絵里菜訳	エクスマレッジ
22 カラス学のすすめ / 杉田昭榮著	緑書房
23 耽美な世界観を表す日本の廃墟たち / MdN 編集部編 (美しい廃墟 / MdN 編集部編；日本編)	エムディエヌコーポレーション
24 ミステリーな仏像 / 本田不二雄著	駒草出版
25 東京店構え：マテウシュ・ウルバノヴィチ作品集 / マテウシュ・ウルバノヴィチ著；サイドランチ編 = Tokyo storefronts: the artworks of Mateusz Urbanowicz	エムディエヌコーポレーション
26 昭和を駆け抜ける / 林忠彦写真	クレヴィス
27 日本の美しい色と言葉：心に響く和のデザインがつくれる本：配色アイデア手帖：完全保存版 / 桜井輝子著	SBクリエイティブ
28 サリエーリ：生涯と作品：モーツァルトに消された宮廷楽長 / 水谷彰良著	復刊ドットコム
29 徳川夢声のくらがり二十年 / 徳川夢声著	清流出版
30 昔話法廷 / NHK Eテレ「昔話法廷」制作班編；今井雅子原作；伊野孝行挿画 ([Season1])	金の星社
31 不思議の国のアリス / ルイス・キャロル作；ロバート・イングペン絵；杉田七重訳	西村書店東京出版編集部
32 りんごかもしれない / ヨシタケシンスケ作	プロダクション
33 文豪たちの友情 / 石井千湖著	立東舎
34 檸檬 / 梶井基次郎著；げみ絵 (乙女の本棚)	立東舎
35 パーガヴァタ・プラーナ：クリシュナ神の物語：全訳 / 美莉亜訳 (上)(中)(下)	ブイツーソリューション
36 アガサ・クリスティール百科事典：作品、登場人物、アイテム、演劇、映像のすべて / 数藤康雄編 (ハヤカワ文庫；5524 . クリステール文庫；100)	早川書房

7月4日(木)

『青色本棚』公開

青い表紙の本、タイトルに青が含まれる本、青というキーワードがある本……“青”にまつわる本をメンバーが選びました。



No.
3



No.
4

9月5日(木)

LRP夏期イベント『書店員によるPOP講習会』開催

2019年度夏のLRPイベントは、和光大学図書・情報館4F会議室にてPOP講習会を開催しました。※詳細は本誌p.4-5をご覧ください。



No.
5

10月31日(木)

『私達勉強中本棚 + 絵本本棚』公開

メンバー各々の研究分野や現在夢中になっている授業の関連本、また、あわせて思い出深い絵本などを、9月開催の夏期イベント『書店員によるPOP講習会』にて作成したメンバー力作のPOPを付して展示しました。



11月2日(土)

『LRPイベント「ミニビブリオバトル」in 和光大学祭』開催

11月2日(土)～3日(日)開催の大学祭に合わせて、LRPメンバー企画のイベント「ミニビブリオバトル」を『私達勉強中』、『絵本』をテーマに、図書・情報館3Fフリー閲覧スペースにて開催しました。

No.
6



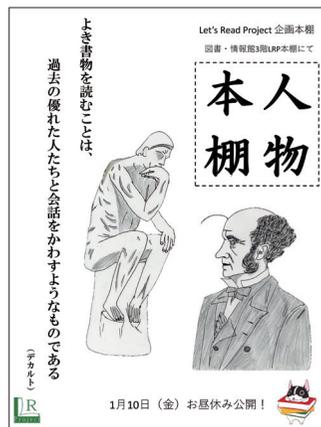
No.

7

1月10日(金)

『人物本棚』公開

一般的に有名な人物から、あまり知られていない人物まで、さまざまな人物に焦点をあてて本を集めました。表紙の人物から吹き出しのかたちでPOPを作成するなど工夫を凝らしました。



No.

8

2月6日(木)

第13回 選書ツアー

新年度4月からの本棚作りに向けて、選書ツアーに行きました。場所は毎年お世話になっている紀伊國屋書店新宿本店です。参加メンバーは9名。事前に図書・情報館ベテラン職員からレクチャーを受け、どんな本を和光大学の蔵書として選んだら良いのか、それぞれ準備をして臨みました。ツアー当日は、店内で約1時間の選書後、紀伊國屋書店のイベントスペースをお借りして各自プレゼンを行いました。その後、メンバー同士で「大学図書館に置く本としてふさわしいか」、「この本を図書館に入れたら、この分野をやりたいと思っている新入生の入門書として参考になるのではないか」「コンセプト『和光大生の大学生活を彩る本』に適っているか」等々の白熱した議論を繰り広げ、残った時間に再度足りない分野の本の選書を協力して行いました。“図書館”と“学生”双方の視点から、本好きメンバーたちが魅力的な本を選び抜いてくれました。



メンバーよりひとこと

最後のツアーなので楽しく本選びをすることに集中しました。
(総合文化学科4年 とい)

今回初参加でしたが、選書のコツを来年に活かしていきたいです。
(総合文化学科2年 なつし)

最後の参加でしたが、推していた本が却下されるとやはり辛いです。
(総合文化学科4年 満足鮫)

沢山の本を選書したが、決められず落選した本もあった。後悔。
(総合文化学科1年 唾吾こういち)

最後なので欲張って選びすぎましたが悔いはありません。
(芸術学科4年 都)

紀伊國屋書店本店で選書という貴重な体験で、楽しかったです。
(総合文化学科1年 ヨーハン)

良書を多く入れることが出来て充実したツアーでした。
(総合文化学科3年 山名案山子)

選んだ後のメンバーとの話し合いはやっぱり大変だけど楽しかった。
(現代社会学科2年 shuri)

新入生とレポートに使う学生に、適した本を選ぶことが難しかった。
(総合文化学科1年 和田進二)

PICK UP BOOK

LRPメンバーおすすめの本をご紹介します。
渾身のおすすめコメントと併せて、お楽しみください。



『山怪：山人が語る不思議な話』

田中康弘著／山と溪谷社／2015

昔から人々の間で伝えられてきた山で起きる不思議な話や、実際にそれらと遭遇した体験談をまとめた本書は、現代の『遠野物語』とも言われています。数多くの話が収録されていますが、どの話にも創作のように都合のいいオチはありません。その点が一層リアリティを感じさせ、興味深い話ばかりです。山で起きる神秘的な出来事は、そのいづれにも日本人の宗教観があり、妖怪なども含まれます。現在は参巻まで刊行されており、口承文学に興味がある方から少し不思議な話が好きな方まで、様々な方におすすめできるシリーズです。（総合文化学科4年 とい）



『放浪の戦士』

茅田砂胡著／中央公論社／1993

目が覚めるとそこは知らない場所で、自分の身体は女の子になっており、そばに立っているのは傷だらけの旅の男とそれを取り囲む刺客たち。そんな出会いから、一国をかけたところか大陸全土を巻き込む冒険が起こる。異世界転生か？ と思いきや25年前の作品。近年、舞台化され、全集も発売された根強い人気をもつ大河ファンタジー。（芸術学科4年 都）



『亜愛一郎の狼狽』

◎カバーイラスト：松尾かおる カバーデザイン：小倉敏夫
泡坂妻夫著／創元推理文庫／1994

字（あざな）が「亜」で名前が「愛一郎」——そんな不思議な名前の主人公が活躍するミステリーの短編集です。イケメンだけどこか抜けたところのあるカメラマン亜愛一郎。しかし事件に巻き込まれると驚くほどの観察力と推理力で立ちどころに事件を解決してしまいます。作者は作家でありながら奇術師の一面もあり、短編ながらどれも質の高いトリックを味わえます。ミステリー初心者の方にもオススメの一冊です。ちなみにこんな不思議な名前にしたのは、作者曰く「名探偵図鑑で名前が一番最初に載るようにするため」だそうです（笑）

（総合文化学科4年 満足餃）



『はじめの日本神話：「古事記」を読みとく』

坂本勝著／ちくまプリマー新書（筑摩書房）／2012

大学に入って日本神話を専攻するようになり、日本神話について手軽に読める本を探していた時にこの本を見つけました。内容は、古事記にでてくる日本の神様の名前の意味や、物語の内容解説です。基礎的なことが丁寧にわかりやすく書いてあるので、日本神話に関連した講義を履修する人におすすめの一冊です。私もこの本を読んで、講義で学んでいる神様の名前の由来で改めて発見がありましたので、日本神話に興味を持っている方も、読んでみると新たな発見があるかも知れません。（総合文化学科3年 ぼてと）



『祖國再生：わが日本への提案』

瀬島龍三著／PHP文庫／2009

戦中は陸軍大本営参謀・戦後は伊藤忠商事会長や中曽根内閣におけるブレーンとして長きにわたり活躍した著者と、各々の知識人との対論集。著者は本書にて、政治・経済・哲学・教育などの分野から考察するにあたり、各々の知識人たちと対論したうえで「この国をいかに後世に引き継いでもらうか」を模索した。我が国の繁栄につながるかもしれない一冊だ。（総合文化学科3年 一条公三郎）



『世界的神話伝説図鑑』

フィリップ・ウィルキンソン編；大山晶訳／原書房／2013

古今東西の神話についてカラフルなイラストや図像を用いて浅く広く紹介する図鑑です。特に「神話の勉強がしたいけれど、神話っていろいろありすぎてどれをやればいいのかかわからない」という方、この図鑑を斜め読みするだけでも、好きな神話に巡り会えると思います。（総合文化学科3年 山名案山子）



『零式艦上戦闘機』

清水政彦著／新潮選書刊／2009

日本が誇る名機の零戦のすべてがこの一冊に書かれています。零戦の様々な疑問、栄光と悲劇が詰まっています。また、零戦の性能と型が掲載されているので、航空機好きな方もたのしく読めます。この本を読めば、零戦という日本の名戦闘機の虜になること間違いなし。（経済学科2年 リョーツ）



『星の魚』

寮美千子作・画 谷地元瑛子・英文監修／パロル舎／2002

絵本でありながら詩的な言葉で書かれている一冊です。不思議な世界観とそれにマッチした挿絵、そして詩的な言葉の3つが、この本の面白い部分かつすべてだと思います。大人になった今だからこそ読んでほしい、そんな絵本です。（現代社会学科2年 shuri）



『少年アリス』

長野まゆみ著／河出書房新社／2008

夜の学校に忍び込んだ少年アリスと蜜蜂は夜の校舎で行われる不思議な授業を目撃します。昼間とは全く違う姿を見せる夜の学校を舞台に、長野まゆみの繊細な色硝子を組み合わせるような美しい表現により、幻想的でノスタルジックな、それでいてドキドキする冒険的な物語が展開されていきます。ここで紹介している本書は改造版ですが、改訂前の『少年アリス』とは、終盤の内容に大きな変化が見られます。読み比べてみるのもきっと楽しいでしょう。夜の学校という非日常と、少年たちの夜の冒険をこっそり覗いてみましょう。（総合文化学科2年 黄緑ペンギン）



『たのしく読める英米の絵本：作品ガイド120』

桂宥子編著／ミネルヴァ書房／2006

英米絵本が誕生してから現在まで、数多くの英米絵本が生み出されてきています。この世界・分野の本に出合ったこと、これは私にとって、とても奥深い意味のあることでした。この本を読み、幅広く、魅力のある英米絵本の世界観に迫ることで、より一層、本を読むことを楽しめるのではないのでしょうか。（総合文化学科2年 Kちゃん）



『おまいうまうだな』

宮西達也作・絵／ポプラ社／2003

「こどもと文学」の授業で取り上げられた絵本です。有名な絵本なので、私自身も幼い頃にこの絵本を読んだことがあります。現在になって読み返してみると、肉食獣と草食獣の、異なるもの同士の愛情が描かれていたり、漫画のコマ割りのようなイラストになっていて恐竜たちの動きが伝わりやすいところが人気の理由だと思います。どんな世代の方でも楽しめるストーリーなのでオススメの絵本です。（総合文化学科2年 なつし）



『トリゴラス』

長谷川集平作／文研出版／1978

夜の風音を「かいじゅう」トリゴラスが飛ぶ音だと思った少年が父にそのことを延々と尋ねる、という内容の本。トリゴラスが少年の友人であろう「かおるちゃん」を抱んで「もう まちにはないねん」と去っていくのもシュールである。（総合文化学科1年 伊刈間新斗）



『批評の解剖』

ノースロップ・フライ著 海老根宏（ほか）訳／法政大学出版局／1980

物語が好きな人——どうしてその物語がおもしろいのか疑問に思ったことはないだろうか。文学とは何かを考えたことは？ 考えても答えが出ないのなら先人の叡智に触れてみてはどうだろうか。『批評の解剖』は批評における態度と技巧を取り扱った本である。具体的には、4つのエッセイが掲載され、著者の文学批評の総括と、「ジャンル」による物語の分類を行っている。1957年に発表された古い本だが、その辺の物語の教則本よりも知的で面白い。いわゆる古典、読んでみてはいかが。（総合文化学科1年 唾舌こういち）



『ハムレット』

シェイクスピア作 野島秀勝訳／岩波文庫／2002

古典が苦手な方でも、安心して読むことができる作品。とてもわかりやすく解説されているので、難なく読み進めることができる。舞台は中世デンマーク。父を亡くし、悲しみに打ちひしがれていた王子ハムレットは、前デンマーク王を名乗る亡霊がいるという話を聞く。森へ行くと、亡くなったはずの父の姿があった。亡霊は、自分の死はハムレットの叔父のクローディアスに関わっていると話す。母と再婚した叔父を調べている内に驚きの真相が発覚する。とてもオススメ。（総合文化学科1年 ヨーハン）



【所属学科】総合文化学科
 【学年】4年
 【ペンネーム】とい
 【おすすめ授業・教員名】宗教思想論／津田博幸先生



【所属学科】芸術学科
 【学年】4年
 【ペンネーム】都
 【おすすめ授業・教員名】サブカルチャーで学ぶ現代史／田村景子先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】4年
 【ペンネーム】満足鮫
 【おすすめ授業・教員名】文学へのいざない／津田博幸先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】3年
 【ペンネーム】ぼと
 【おすすめ授業・教員名】手話の世界／深海久美子先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】3年
 【ペンネーム】一条公三郎
 【おすすめ授業・教員名】現代の編集と出版／野々村文宏先生，松枝到先生，畑中朋子先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】3年
 【ペンネーム】山名案山子
 【おすすめ授業・教員名】叙事詩を読む／坂井弘紀先生



【所属学科】経済学科
 【学年】2年
 【ペンネーム】リョーツ
 【おすすめ授業・教員名】資源エネルギー論／岩間剛一先生



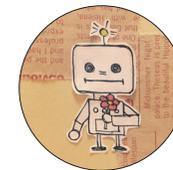
【所属学科】現代社会学科
 【学年】2年
 【ペンネーム】shuri
 【おすすめ授業・教員名】現代社会とNGO・NPO／小野奈々先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】2年
 【ペンネーム】黄緑ペンギン
 【おすすめ授業・教員名】西洋の演劇／中田崇先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】2年
 【ペンネーム】Kちゃん
 【おすすめ授業・教員名】英米文学序論／名嘉山リサ先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】2年
 【ペンネーム】なつし
 【おすすめ授業・教員名】こどもと文学／那須田淳先生



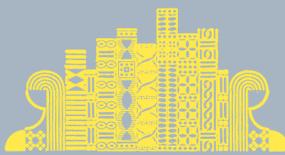
【所属学科】総合文化学科
 【学年】1年
 【ペンネーム】伊刈間斬斗
 【おすすめ授業・教員名】映像の文法／野々村文宏先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】1年
 【ペンネーム】唾吾こういち
 【おすすめ授業・教員名】数で読む世界A／栗原秀幸先生



【所属学科】総合文化学科
 【学年】1年
 【ペンネーム】ヨーハン
 【おすすめ授業・教員名】西洋の演劇／中田崇先生



LRPルームは、図書・情報館2Fです。
「開室中」であれば、メンバーが中にいます。
気軽に声をかけてください。



LRPレポート2019 Let's Read Project 2019
2020年3月19日発行

[編集]「LRPレポート」編集委員会 [発行]和光大学附属梅根記念図書・情報館
〒195-8585 東京都町田市金井町2160 TEL : 044-989-7494 E-mail : library@wako.ac.jp